

—彙 報—

* 研究者の動向 (1977年)

山田隆治教授

51年度の研究テーマ：śādhism の社会的意味に関する文献研究を行ない、その一部を「転生観について」(『南方文化』第4輯, 52年7月)、「サンニャーシンとバラモン」(『アカデミア』第28輯, 53年2月)として発表した。

倉田勇教授

昭和49年11月第28回日本人類学会日本民族学会連合大会で発表した「慣習的行為の動機の一考察」のテーマにもとづいて、「慣習論断章」〈社会人類学年報 vol.-3 1977〉をまとめた。8月インドネシア・スラウエシのトラシア族社会を旅行し、帰途タイ国の山地少数民族口族をみてきた。また11月26日、第5回中部人類学会にて「社会的慣習の一側面——インドネシアの事例を中心に——」を報告した。

伊藤秋男助教授

朝鮮半島の横穴式石室墳の出現とその系譜を究明するため、1977年3月、南山大学特別研究費の助成をえて渡韓、善山の洛山洞から山陽洞にかけて分布する石室墳の踏査を行った。9月には西ドイツ・バイエルン学士院会副会長の Prof. Dr. Joachim Werner 氏が来日、同氏とともに約10日間にわたって畿内の古墳を巡見した。

報告書刊行(共著)：『阿木川ダム関係遺跡分布調査報告』『迫間浦道瀬遺跡』『白山藪古墳発掘調査報告』

調査活動：岐阜県恵那市陣屋址実測調査(3月)・同正家廃寺址発掘調査(7月)・同千田17号墳の発掘調査(7月)・名古屋市大須古墳群の実地踏査(12月)。現在これらの成果について報告書作成中。

早川正一助教授

昭和52年度における文部省科学研究費の援助によって、日下部文夫教授(東京外大)を隊長とする「ミクロネシア西カロリン群島の民俗文化の文化人類学的総合調査」が計画され、これに考古学の分担者として参加した。同年7月から10月までの3ヶ月間、ヤップ島およびパラウ島において現地調査を実施した。ヤップ島においては、民族学担当の牛島巖助教授(筑波大)と言語学担当の日下部教授に協力して海浜集落のエコシステムを研究するため、村域全体の測量と遺跡・民家・民具などの実測を綿密におこない、基礎資料を得ることができた。終了後、

パラウ島に渡り、民族学担当の青柳真知子教授（立教大）と言語学担当の崎山理助教授（大阪外大）の応援を得て、考古学担当の高山純講師（東海大）とともに、アリミズにある巨石建造物をつぶさに実測し、その実体と構築年代を探るための発掘調査をおこなった。

森部 一助手

還俗を前提としたタイの出家制度は、タイ仏教の“great-tradition”と“little-tradition”を結ぶ文化的媒体としての意味を持つが、そのために出家は世俗的性質さえ帯びることになる（アカデミア28 1978.2）。勿論、出家はいわゆる“merit-making”行為の一つに他ならず、従って、こうした特徴が他の“merit-making”行為にもみい出されるかどうか当然、問題となる。この問題を、イデオロギーとの関連にも注目しながら、現在検討中である。

*行 事

- 1月13日：講演会，中山清隆氏「韓国釜山市金海礼安里の伽倻古墳群」。
- 6月4日：講演会，大井邦明氏「ラテンアメリカ古代文明へのいざない」。
- 6月20日：第1回博物館見学会，東海銀行貨幣展示室，参加学生35名。
- 7月16日：第2回博物館見学会，エーザイ薬資料館，参加学生40名。
- 9月17日：講演会，Prof. Dr. Joachim Werner，“Die archäologische Hinterlassenschaft der Hunnen in Südrussland und Mitteleuropa”
- 12月7日：第3回博物館見学会，名古屋市博物館，参加学生30名。

*受贈・交換図書（1977年1月～12月）

- 1. 12. 「綾瀬町文化財調査報告」第4集（綾瀬町教育委員会）
- 14. 「原野農芸博物館図録」第9集（原野農芸博物館）
- 24. 「教祖90年祭特別展目録 中国古代の文物」（天理大学附属天理参考館）
「阿玉台北遺跡」（千葉県都市公社）
- 2. 1. 「信濃大深山遺跡」（八幡一郎）
- 4. 「長原遺跡発掘調査」中間報告2・資料編（大阪市教育委員会内長原遺跡調査会）
- 8. 「河内野中古墳の研究」（大阪大学文学部国史研究室）
- 9. 「文科系文献目録」X X III イタリヤ学篇下（日本学術会議事務局）
- 25. 「コスモ」第1巻第11号 特集土偶（K.K.少年写真新聞社）
- 3. 7. 「福岡市埋蔵文化財調査報告書」第37集（福岡市教育委員会）
- 17. Ethnology of the Southwestern Pacific（馬淵東一）
- 19. 「坂下町濃ヶ池遺跡調査報告」（紅村弘）

25. 「逐次刊行物目録」(国立国会図書館)
「アフリカ学術調査共同研究プロジェクト報告」第3号～6号(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)
4. 13. 「伊八島水没遺跡」(河野克暢)
「欣岩里住居址」3(金元龍)
「高麗大学校博物館案内」(高麗大学校博物館)
「新発見の考古品展目録」(文化庁文化財保護部)
18. 「坂戸遺跡」・「窪地古墳・鳥ヶ根古墳」(岡崎市郷土館)
25. 「北九州市文化財調査報告書」第23集・第24集(北九州市教育委員会)
「松崎貝塚発掘調査報告」(東海市教育委員会)
「伊場遺跡発掘調査報告書」第2冊(伊場遺跡資料館)
26. 「釜利谷開発地区埋蔵文化財調査報告書」第1集(横浜市埋蔵文化財調査委員会)
5. 2. 「重要遺跡指定促進調査報告」II(愛知県教育委員会)
「新収欧文資料」第6号(東京大学東洋文化研究所)
6. 「福岡市埋蔵文化財調査報告書」第38集・第39集(福岡市教育委員会)
10. 「南勢町埋蔵文化財調査報告」1(中村八朗)
13. 「特別展図録 日本の武器武具」(東京国立博物館)
「全国遺跡地図」秋田県・栃木県・群馬県・埼玉県・香川県・宮崎県(文化庁文化財保護部)
「豊田市埋蔵文化財調査集報」第2集・第3集(豊田市教育委員会)
18. 「平安京跡研究調査報告」第2輯・「中京郵便局新築敷地埋蔵文化財発掘調査報告」(平安博物館)
「摂津の古墳」・「増補河内の古代遺跡と渡来系氏族」(野上丈助)
20. 「大廻古墳群発掘調査報告書」(岐阜市教育委員会)
27. 「岐阜第二遺跡」(東京大学文学部常呂研究室)
「岐阜第三遺跡」(東京大学文学部考古学研究室)
31. 「弁天山古墳群の調査」(野上丈助)
6. 6. 「高代山古墳群」・「森町埋蔵文化財調査報告書」・「水垂二ツ池古墳群」・「天桂院山第三号墳」・「小針遺跡発掘調査報告」(久永春男)
17. 「東海市加木屋古窯発掘調査報告」(愛知県教育委員会)
「二本松古墳群」(芳賀陽)
7. 1. 「龍泉集芳」I・II(蘭山龍泉堂)
「神奈川県立博物館発掘調査報告書」(神奈川県立博物館)
「イラン先史遺跡調査総括概報」(東京教育大学イラン先史遺跡調査団)
4. 「堂垣内遺跡発掘調査報告」・「小山池廃寺発掘調査概報」第1・2次(広島県教育委

- 員会)
- 「明治大学文学部研究報告」考古学第七冊 (明治大学文学部考古学研究室)
7. 「原始日本の再発見」1 (学習研究社)
9. 「百人委員会埋蔵文化財報告」第7集 (百人委員会事務局)
20. 「福岡市埋蔵文化財調査報告書」第40集～44集 (福岡市教育委員会)
27. 「角塚古墳調査報告」(岩手県胆沢郡胆沢町教育委員会)
- 「福岡市立歴史資料館図録」第2集 (福岡市立歴史資料館)
8. 2. 「高橋遺跡第七次発掘調査報告書」(豊田市郷土資料館)
- 「東勝寺遺跡発掘調査報告書」・「多宝律寺遺跡第7次発掘調査報告書」(鎌倉市教育委員会)
- 「平尾城山古墳第1次発掘調査概報」(平安博物館)
- 「特別展 観音菩薩目録」(奈良国立博物館)
22. 「千葉東南部ニュータウン」IV. 生浜古墳群」・「千葉市中野僧御堂遺跡」(千葉県文化財センター)
- 「高陽新住宅市街地開発事業地内埋蔵文化財発掘調査報告」(広島県教育委員会)
31. 「平城京左京五条四坊三坪発掘調査概報」(奈良国立文化財研究所)
9. 5. 「野塩西原」(榊原松司)
12. 「百人委員会埋蔵文化財報告」第8集 (百人委員会事務局)
10. 7. 「文科系文献目録」XXIV 体育学篇上 (日本学術会議事務局)
17. 「特別展 戦国武将展図録」(埼玉県立博物館)
21. 「利倉遺跡」・「桜井谷窯跡群」(豊中市教育委員会)
26. 「正倉院展目録」・「特別展目録 古代人のいのり」(奈良国立博物館)
31. 「堀文庫蔵書目録」(成城大学民俗学研究所)
- 「千葉市東寺山石神遺跡」・「千葉市東寺山戸張作遺跡」(千葉県文化財センター)
11. 21. 「京都大学構内遺跡調査研究年報」昭和51年度 (京都大学埋蔵文化財センター)
30. 「経塚遺宝」(稲垣晋也)
12. 1. 「開館記念特別展図録 東海の古陶」(名古屋市博物館)
- 「豊田市埋蔵文化財調査集報」第4集 (豊田市郷土資料館)
12. 「千葉東南部ニュータウン」I. 椎名崎古墳群・II. 木戸作遺跡・III. 有吉遺跡 (千葉県都市公社)
13. 「特別展覧会目録 日本の黎明」(京都国立博物館)
21. 「勝央中核工業団地建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告」(岡山県勝田郡勝央町教育委員会)

*受贈・交換定期刊行物（1977年1月～12月）

- 「愛知学院大学宗教法制研究所紀要」20～21（愛知学院大学宗教法制研究所）
- 「アジア・アフリカ言語文化研究」12～13・「通信」28～30（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）
- 「アジア・アフリカ資料通報」Vol. 14（8～12）～15（1～7）（国立国会図書館）
- 「青山史学」4（青山学院大学文学部史学科研究室）
- 「佛教研究」6（国際佛教徒協会）
- 「千葉県文化財センター研究紀要」2（千葉県文化財センター）
- 「地域文化」1～3（関西学院大学文学部内地域文化学会）
- 「文化財グラフ ぎふ」1（岐阜市教育委員会）
- 「羽曳野史」1（野上丈助）
- 「比較文化研究」15（東京大学教養学部比較文化研究室）
- 「北方文化研究」10（北海道大学文学部附属北方文化研究施設）
- 「人文学報」123（社会学14）（東京都立大学社会人類学研究室）
- 「関西大学東西学術研究所紀要」9～10・「関西大学東西学術研究所々報」27～28（関西大学東西学術研究所）
- 「金城学院大学論集」71（社会科学編19）（金城学院大学）
- 「国学院大学日本文化研究所報」13（5～6）～14（1～4）・「国学院大学日本文化研究所紀要」38～39（国学院大学日本文化研究所）
- 「駒沢大学 文学」3（駒沢大学文学部文化学教室）
- 「埋蔵文化財ニュース」1～11（奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター）
- 「まつり通信」Vol. 17（1～12）（まつり同好会）
- 「民間伝承」Vol. 41（2～4）（六人社民間伝承編集部）
- 「美濃民俗」115～124（美濃民俗文化の会）
- 「武蔵大学人文学会雑誌」Vol. 8（2～4）（武蔵大学人文学会）
- 「ムセイオン」22～23（立教大学博物館学研究室）
- 「長野県考古学会誌」27～29（長野県考古学会）
- 「日本文化研究所研究報告」13・「日本文化研究所研究報告」別巻14（東北大学文学部附属日本文化研究施設）
- 「日本学術会議月報」Vol. 17（11～12）～18（1～10）（日本学術会議事務局）
- 「オリエント」Vol. 19（1～2）20（1）（日本オリエント学会）
- 「歴史学論集」19～20（山梨大学教育学部歴史学教室）
- 「歴史人類」3～4（筑波大学歴史・人類学系）
- 「立正大学文学部論叢」57～58（立正大学文学部）

- 「立正大学人文科学研究所年報」14（立正大学人文科学研究所）
- 「立正史学」41・「立正史学総目録」1～40（立正大学史学会）
- 「社」Vol. 8（4）～9（1～4）（東京都立大学社会人類学研究室）
- 「史観」94～97（早稲田大学史学会）
- 「信濃考古」38・41～43（長野県考古学会）
- 「史科館報」26～27（国立史料館）
- 「千里民俗」10～11（関西大学民俗学研究会）
- 「ソシオロジカ」Vol. 1（1～2）・別冊（社会調査特集）（創価大学社会学会）
- 「東洋文化研究所要覧」6（東洋大学東洋文化研究所）
- 「百濟文化」9（韓国公州師範大学附設百濟文化研究所）
- 「百濟研究」7（韓国忠南大学校百濟研究所）
- 「考古人類学刊」37～38（国立台湾大学文学院）
- 「藤原岳自然科学館報」2（藤原岳自然科学館）
- 「福岡市立歴史資料館研究報告」1（福岡市立歴史資料館）
- 「群馬県立博物館報」17～18（群馬県立博物館）
- 「北海道開拓記念館調査報告」12～14（北海道開拓記念館）
- 「茨城県歴史館報」4（茨城県歴史館）
- 「科学館紀要」12・「科学館ニュース」126～137（市立名古屋科学館）
- 「からだの博物館」Vol. 3（1～2）（東海大学人体科学博物館）
- 「海のはくぶつかん」Vol. 7（1～6）（東海大学海洋科学博物館）
- 「国立民族学博物館研究報告」Vol. 1（4）～2（1～3）・「月刊みんぱく」Vol.（1～2）
・「民博通信」1（国立民族学博物館）
- 「名古屋市博物館準備年報」4・「名古屋市博物館建設準備ニュース」8～9・「名古屋市博物館だより」1～2（名古屋市博物館）
- 「リトルワールドニュース」7～10（リトルワールド）
- 「大阪市立博物館研究紀要」9（大阪市立博物館）
- 「埼玉県立博物館だより」Vol. 5（2～4）～6（1～3）・「埼玉県立博物館紀要」3（埼玉県立博物館）
- 「横須賀市博物館研究報告」（自然科学）23・（人文科学）20・「横須賀市博物館館報」23（横須賀市博物館）

Anthropological Papers of the American Museum of Natural History Vol. 53(2-4). (The American Museum of Natural History, New York)

Asian Folklore Studies Vol. 36(1-2). (Editor Matthias Eder)

Annual Report 1976.

- Asian and Pacific Quarterly of Cultural and Social Affairs Vol. 8(2-4).
- Aspac Newsletter of Cultural and Social Affairs Vol. 8(6)-9(1-3). (Cultural and Social Centre for the Asian and Pacific Region, Seoul)
- Australian Institute of Aboriginal Studies (Newsletter) No.7-8.
- Newsletter index Nos. 1-6.
- Annual Bibliography No.8. (Australian Institute of Aboriginal Studies, Australia)
- Bulletin of the National Science Museum. Series D(Anthropology) Vol. 3 (National Science Museum, Japan)
- Deutsche Akademie für Sprache und Dichtung Darmstadt Jahrbuch 1975-1976. (Hessische Landes-und Hochschulbibliothek, Deutschland)
- Journal of Tamil Studies No.9. (International Institute of Tamil Studies, India)
- Nanzan Institute for Religion and Culture Bulletin No.1. (Nanzan Institute for Religion and Culture, Japan)
- Préhistoire Ariégeoise Vol. 31. (La Société Préhistorique de l'Ariège, France)
- Serie Arqueologica No.5. (Instituto de Arqueologia, Academia de Ciencias de Cuba, La Habana)
- Smithsonian Contributions to Anthropology No.20-21. Smithsonian Year 1976. (Smithsonian Institution, Washington)
- Studia Culturae Islamicae No.7. (Institute for the Study of Languages and Cultures of Asia and Africa, Japan)
- Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Incorporated / Report for 1975. (Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research. New York) (成田良子編責)